

- 此花区 -

概要

淀川河口の南部に位置し、区域は東西に長く、南北に短い。
面積は 15.45 平方キロメートルで、大阪市 24 区中第 2 位を占める。



北は淀川をへだてて西淀川区に相對し、東は福島区に接し、南は安治川によって港区及び西区に臨み、西は大阪湾に面している。

区内には正蓮寺川、六軒家川、安治川等の河川があり、大阪湾には、埋立によりできた舞洲がある。

沿革

此花区の土地が市部となったのは明治 30 年 4 月の第 1 次市域拡張の際で、それまでは西成郡に属していた。大正 14 年 4 月 1 日第 2 次市域拡張によって当時の北区及び西区の一部を合して、第 1 次の此花区が生まれた。
さらに昭和 18 年 4 月 1 日の分増区によって福島、西野田の地域が現在の福島区に分離され、一方西淀川区のうち、伝法、高見の両地区が編入され今日の此花区となった。

区名の由来

大正 14 年、もとの北区と西区から分れて新区が創設される時、玉川区・福島区・朝日区、野田区・四貫島区などと地元から色々案が出されたが、王仁(わに)が詠んだと伝えられる古歌

難波津に 咲くやこの花 冬ごもり 今ははるべと 咲くやこの花

から引用して此花区と名付けられた。

人口

65,685 人(2005 年 9 月 30 日)

区の花

サクラ、チューリップ

此花大橋

橋長：海上部 540 m
幅員：17.5 m
形式：自碇式吊橋
完成：H2

大阪市の此花区北港本町と舞洲(まいしま)を結ぶ延長約 1.7km の橋。主橋梁部は、世界でも珍しいモノケーブル自碇式吊橋(主径間 300m)と呼ばれるもので、1本のメインケーブルによって橋桁が吊り下げられている。此花大橋では、主塔のライトアップやケーブルのイルミネーションが行われている。特に、ケーブルのイルミネーションには、LED(発光ダイオード)を光源としている。

舞洲(まいしま)

大阪市此花区にある埋め立てによって造成された人工島。大阪港の港湾の北港地区の一つである。2008 年の五輪会場として立候補していたが落選し、土地開発が進まないなど低迷していたが、景気回復や大消費地の大阪市に位置する好立地などを背景に、最近になって物流施設の進出が相次いでいるなど、土地開発が活発になっている。

大阪市環境事業局舞洲工場

焼却能力	900 トン/日 (450 トン/炉 × 2 炉)
破碎能力	170 トン/日 (鉄とアルミをリサイクル)
排ガス処理	バグフィルタ、湿式洗浄装置、触媒脱硝装置など
ダイオキシン対策	コンピュータによる安定した高温運転 + バグフィルタの採用 + 触媒脱硝装置で排ガス中濃度を 0.1 ナノグラム以下とする。飛灰のダイオキシンは加熱脱塩素化装置で分解。
煙突	120m
工事期間	1997 年(H9)年 3 月着工、2001 年(H13)年 4 月末竣工
総工費	約 609 億円
節水	屋上に降る雨水を集めて利用。排水処理水の再利用。(1 日約 400 トンの節水)

このゴミ処理場は、芸術の都ウィーンにおける世界的芸術家「フリーデンスライヒ・フンデルトヴァッサー氏」の設計で作られた芸術作品。

大阪市環境事業局管轄

大阪市都市環境局舞洲スラッジセンター

総事業費約 800 億円

大阪市の下水汚泥の集中処理を目指して建設される。汚泥の運搬はこれまでのトラックによる運搬から、パイプで運搬する方式を目指す。高温処理された汚泥は、溶融スラグとして生まれ変わり、建築資材として利用される。

大阪市都市環境局管轄

夢舞大橋

総事業費約 664 億円

橋長：浮体部 410m
幅員：31.2m
形式：旋回式浮体橋
完成：H13

現在造成工事や施設整備が進められている夢洲（ゆめしま）と舞洲を結ぶ橋が完成した。舞洲はスポーツアイランドとして整備が進められ、夢洲は将来商業、住宅地として利用される計画になっている。この橋はこれら埋立地の開発促進と臨海部の主要幹線となる役割を与えられている。夢洲と舞洲の間の水路は大阪港の補助的な航路と位置付けられ、普段は小さな船しか通らないが、咲洲～夢洲間の主航路が万一航行不能になったとき、代替機能が発揮できるよう可動橋が計画された。可動橋にはいくつかの形式があるが、必要航路幅が200mと非常に大きいこと、開橋頻度が低いこと、埋立地の沈下が大きいこと、などの理由から橋をポンツーンの上に乗せ、いざというときにはタグボートで旋回させる形式が適切であると考えられた。

橋が動かず非常時訓練2年連続失敗。

天保山渡船



天保山（港区築港三丁目）と此花区桜島三丁目を結び、岸壁間 400 メートル。

明治 38 年に開設されたこの渡しは、大阪港の繁栄を企図した大阪市が港湾振興策の一環として始めたもので、昭和 15 年までは市の港湾部が所管。

当初は天保山、桜島、築港大棧橋の間を三角運航していたが、大阪港の繁栄につれて利用者が増え、築港棧橋を基点に木津川、尻無川方面にも運航区域を広げ、大正 11 年に天保山棧橋が完成して内航客船が発着するようになってからは、天保山～桜島間を終夜運航した時代もあったが、昭和元年には現在のルートになった。昭和初期には桜島付近の重工業化が進んで通勤用としても利用された。昭和 12 年 12 月 1 日午後 9 時ごろ、渡船が突風にあおられて転覆、軍需工場帰りの乗客 53 人の犠牲者を出す事故があった。昭和 15 年に経営は土木部（現建設局）に移され、現在にいたる。昭和 42 年には 1 日平均 1700 人の利用者があったが、平成 12 年には 690 人程度になっている。

天保山

日本一低い山。ここで言う「山」の定義は「国土地理院発行の地形図に山名と共に載っていること」である。ただし天保山が築山（人工の山）であることなどから、「日本一低い山」ではないという意見もある。

標高 4.53m

天保 2 年（1831 年）より 2 年間、洪水防止と大坂への大型船の入港をしやすくする目的で安治川の河口を浚渫した際、その土砂を河口に積み上げて作られた人工の山。当時は 20m ほどの高さがあり、大坂の町へ遡るため安治川に入ろうとする船にとって目印となっていた。海岸べりに高灯籠（灯台）が設けられ、山には松や桜の木が植えられて茶店なども置かれ、その当時から既に現在同様の観光スポットであったという。当時の舟遊びをする人々の姿は歌川広重などによって浮世絵に描かれている。

その後幕末以降、河口を守る砲台が天保山に建設されたため山土の削り取りが行われ、さらに工業地帯化された大正から昭和にかけて、地下水のくみ上げ過ぎで一帯の地盤沈下が起これば標高が下がり、一時は地形図からも山名が消されていた。これに対し、地元からの復活要望によって 1996 年に再掲載された。

水上消防署

港区の西端に位置する築港、海岸通の陸上区域(面積 1.45km²)と港則法で定める大阪港区内を管轄。

消防車 7 台(小型ポンプ車 1、タンク車 1、救助車 1、救助器材車 1、救急車 1、指揮調査車 1、広報車 1)と消防艇 2 艇が配置されている。

職員数 84 名

- 港区 -

概要



かつての港区は淀川の河口に発達した低湿地帯だったが、江戸時代の末期から新田開発のために埋め立てられ、1903 年に築港大棧橋の完成と市電の開業により大阪の海の玄関として大きく発展していくこととなる。

その後、大阪港周辺には海運業や流通業等会社が集まり、1925 年の区誕生時には人口 28 万人を超える大変な繁栄ぶりだった。

戦災や度重なる風水害により復興が遅れたものの、港の整備や約 90%に当たる区域の高上げが行われ、港湾機能が回復し新たな展開が始まる。

沿革

かつては淀川河口の三角州であり無数の小島からなっていたが、江戸時代に八幡屋や湊屋といった商人らの手により新田として農地開発された。

明治以降、現在の港区はかなり早い時期に大阪市に併合され、天保山周辺において大阪港の開発が始まった。大阪港は紆余曲折の末昭和初期に完成、港の周辺や港へ伸びる市電沿線は新興市街地・工業地帯として栄え、遊園地や運動場など多くのレジャー施設も誕生した。

港区は戦前は大阪市でも最も多い人口を抱えていたが、大阪大空襲でもっとも被害の大きな地域にもなった。戦後は地下鉄中央線や国鉄大阪環状線が通り便利になった。

大阪港はその機能を天保山から南港(咲洲)などに移したが、天保山周辺はウォーターフロント開発で海遊館などが誕生しレジャー地区に変貌しつつある。

1925 年 北区・西区から分離。

1932 年 大正区を分離。

1943 年 旧九条村を西区に分離。

区名の由来

あえて説明する必要もないでしょう？^^；

人口

83,825 人(2005 年 2 月 1 日)

区の花

サクラ、ひまわり

OTS(大阪港トランスポートシステム)

総事業費約 850 億円

累積赤字約 108 億円

この線が開通するまでは、南港住民が都心へ向う足は、南港ポートタウン線ニュートラムに乗って住之江公園駅まで行き、そこで地下鉄四つ橋線に乗り換えて片道およそ 3 ~ 40 分かけてなんば方面に出るか、市営バスに乗って阪神高速に入って港大橋を渡り地下鉄中央線の朝潮橋駅に出るかのどちらかしかなかった。

大阪オリンピック誘致活動と重なり長らく大阪港駅を終点にしていた地下鉄中央線が海底トンネルを掘って南港まで延伸し「コスモスクエア駅」を作ったのは 1997 年 12 月のこと。南港住民にとっては願ってもない都心への足となる。

日本でも数少ない海底トンネルによる地下鉄建造は莫大な経費が掛かる為、ただでさえ御堂筋線の梅田 ~ 本町 ~ 難波 ~ 天王寺以外は赤字路線(谷町線だけはギリギリ黒字と赤字の境をさまよっている)と言われている大阪市交通局。

資金繰りの苦しい中で知恵を絞ってこの路線に設けたのが大阪市港湾局の外郭団体による第三セクター方式の会社「OTS(大阪港トランスポートシステム)」の運営を選択。

このシステムのために南港住民はぬか喜び。路線開業から2005年7月にOTS線の運営が大阪市交通局に移譲されるまでの8年間、梅田まで片道480円という料金を払うか、これまで通りニュートラムに乗り住之江公園経由で遠回りするしかなかった。

南港 WTC コスモタワー

総事業費約 1193 億円
債務超過約 236 億円

コンセプト

・ランドマークタワー

マリンブルーに輝く光の塔は、西日本一の高さ(256m)を誇り、大阪港のランドマークとなっています。さらに、展望台や公共広場、多様なレストランなども備えています。

・コンベンション機能

国際的なビジネスと文化の拠点、コスモスクエア地区は、多くの展示場や会議室を備える施設が点在し、WTC コスモタワーはそのコンベンション機能の中核となっています。

・世界の都市からのビジネス情報

ニューヨークに本部を置く世界貿易連合(WTCA)に加盟している「WTC 大阪」が、世界中の WTC とビジネスネットワークを構築。多彩なビジネス情報が活用できます。

・メディアタワー

WTC コスモタワーには、FM 外国語放送局、通信衛星放送事業者など情報受発信機能が集積されています。メディアタワーとして世界に情報発信するパワーを有しています。

・インテリジェントビル

コスモスクエア地区には、世界及び国内の各都市を結ぶ「大阪テレポート」があり、WTC コスモタワーは、その機能を通じて広範囲なビジネス活動を 24 時間サポートします。

造計画に際しては、埋立地に建つ超高層建築であるため、“安全性の確保”を第一にテーマを設定。256mのビルを、いかに風や地震による振動や揺れに対して安定させるかを配慮。コンピューター制御による 50 トンの制震装置を 2 基設置し、センサーでビルの揺れを検知、効果的に揺れを抑え、快適な居住空間をつくり出します。

だそうです。WTC の HP より抜粋

南港 ATC・ITM 棟

総事業費約 1465 億円
債務超過約 253 億円

設立 1989 年(平成元年)4 月 28 日

出資者 大阪市、伊藤忠商事(株)、日本政策投資銀行、日本生命保険(相)、(株)大丸、(株)近鉄百貨店、(株)マイカル、野村ホールディングス(株)、関西電力(株)、大阪ガス(株)、大阪商工会議所 他 (計 54 社 団体・企業)

代表者 代表取締役社長 秋本 穰

顧問 大阪商工会議所会頭 野村 明雄
(社)関西経済連合会会長 秋山 喜久
大阪府知事 太田 房江
大阪市長 關 淳一

なにわの海の時空館

総事業費約 176 億円

海上に浮かぶ謎の巨大球体の正体は大阪の海上交易の歴史をテーマにした豪華展示施設。

市制 100 周年記念事業として「海洋博物館」の建設。

太古より、人類は、風や潮の流れなどを利用して船出しました。そしてたどり着いた場所で、人びとと出会い、モノ・情報を交換しあうことで、文化を生み出してきました。「なにわの海の時空館」では、先人たちが「海・船・港」から得た知恵や知識、海上交通の要所として発展してきた大阪の歴史について研究をすすめ、来館者に楽しみながら学んでいただけるように、当時の様子を体感してもらえる工夫をしています。また、「なにわの海の時空館」を出会いと発見の場として活用していただけるような機会を設け、多くの方々に参加してもらえるように、様々な活動を進めていきたいと思っております。

なにわ海の時空間 HP より

ふれあい港館ワインミュージアム

総事業費約 59 億円

1995年オープン、総事業費59億円で大阪市の外郭団体である「社団法人大阪港振興協会」が運営。

ふれあい港館は、2005年春に伊藤忠アーバンコミュニティ株式会社の手により新しく生まれ変わろうと一歩を踏み出した。

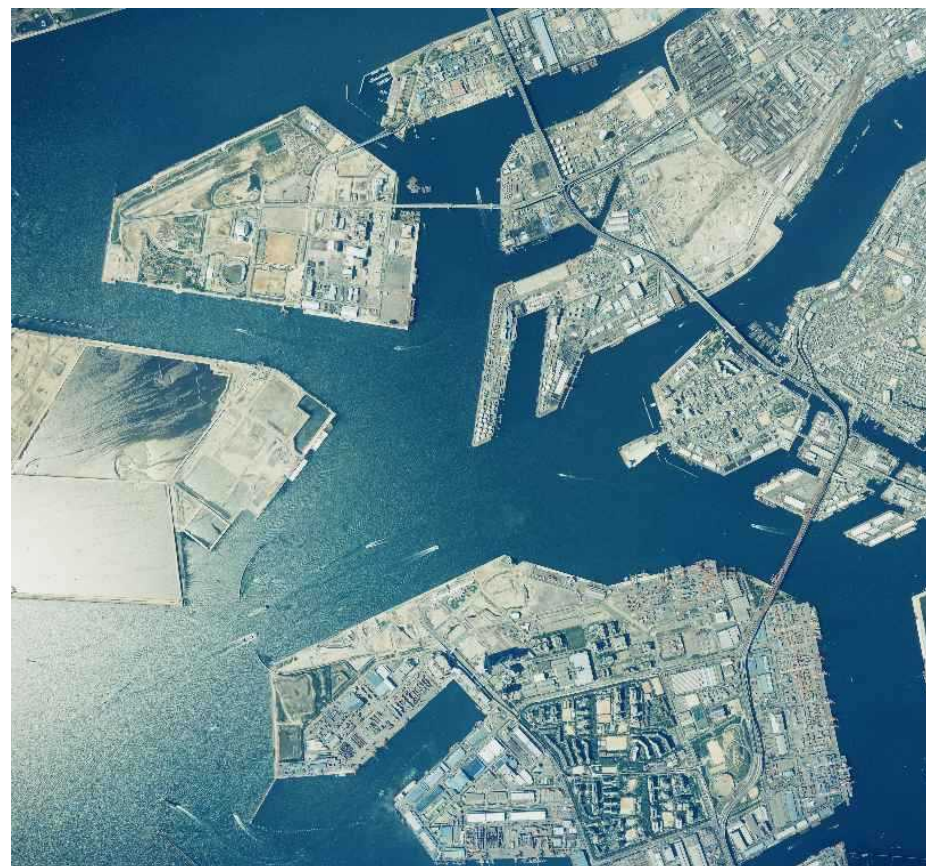
大正区・鶴浜埋立地

総事業費約 340 億円

税金340億円を注ぎ込んで作られた誰も使わない埋立地。計画の物流基地造成計画は破綻して土地は民間に売却。



撮影機関:米軍
撮影日:1947/4/26
形式:白黒
撮影高度:6,705m
撮影縮尺:1/43,250



撮影機関:国土地理院
撮影日:1999/4/30
形式:カラー
撮影高度:4,800m,
撮影縮尺:1/30,000

備考: 写真最上部中央は1947年段階では、埋め立てが完了しておらず、存在していない事がよく分かります。
当然の如く、舞洲・夢洲・咲洲は存在しません。